

**製品名: ALDH3B1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06765**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	52kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ALDH3B1
別名	ALDH3B1; ALDH7; Aldehyde dehydrogenase family 3 member B1; Aldehyde dehydrogenase 7
遺伝子 ID	221.0
SwissProt ID	P43353
免疫原	抗血清はヒト ALDH3B1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 51-100

**背景**

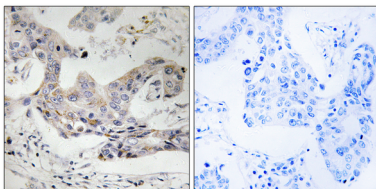
この遺伝子は、アルデヒド脱水素酵素タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。アルデヒド脱水素酵素は、アルコール

代謝および脂質過酸化によって生成されるアルデヒドの解毒において主要な役割を果たすと考えられるアイソザイムファミリーです。コードされているタンパク質は、in vitro において長鎖脂肪酸アルデヒドを酸化することができ、酸化ストレスからの保護に役割を果たす可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2014年2月], 触媒活性: アルデヒド + NAD(P)(+) + H(2)O = 酸 + NAD(P)H., 経路: アルコール代謝; エタノール分解; エタノールからの酢酸: ステップ 2/2., 類似性: アルデヒド脱水素酵素ファミリーに属します。組織特異性: 腎臓と肺で最も発現が高い。 ,

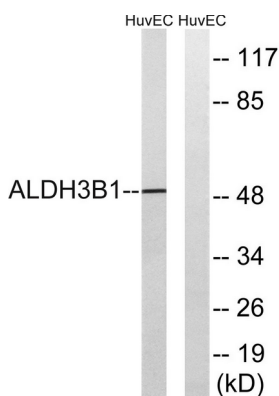
## 研究分野

解糖系/糖新生; ヒスチジン代謝; チロシン代謝; フェニルアラニン代謝; シトクロム P450 による異物代謝; 薬物代謝;

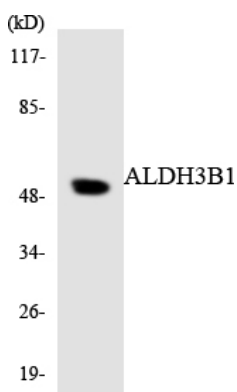
## 画像データ



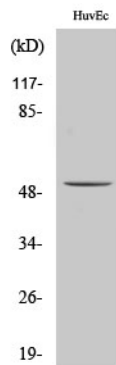
ALDH3B1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



ALDH3B1 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ALDH3B1 抗体を使用した RAW264.7 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 500 に希釈した ALDH3B1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析